

The 701st Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

第701回 定期演奏会

沖澤のどかの魅力を たっぷりと詰め込んでお届けします レッツのヴァイオリン協奏曲で、今ここにしかない体験を

2025.6.20(金) 6.21(土)
Fri, June 20, 2025 / 7:00PM Sat, June 21, 2025 / 2:30PM

開演 午後7時 (午後6時開場) 開演 午後2時30分 (午後1時30分開場)

Kyoto Concert Hall

G.レッツ:ヴァイオリン協奏曲 [...to beam in distant heavens...]* (日本初演)

タイユフェール: 小組曲

ラヴェル: 組曲「マ・メール・ロワ」

デュカス: 交響詩「魔法使いの弟子」

Georges Lentz: Violin Concerto "...to beam in distant heavens..." * (Japan Premiere)
Talliefferre: Petite suite pour orchestre
Ravel: Ma mère l'Oye, suite
Dukas: L'Apprenti sorcier, sym. poem

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線北山駅下車 出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前は指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
6/20(金)公演=6時30分開場
6/21(土)公演=2時開場
「プレトーク」はホールステージ上にて開催します。

京都市交響楽団

指揮: 沖澤のどか(常任指揮者)
Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)
©Felix Broede

ヴァイオリン: アラベラ・美歩・シュタインバッハー*
Violin: Arabella Miho Steinbacher*
©Peter Ritzaud



入場料 2025.4.19 から発売

◎6,000円 ▲5,500円 ◎4,500円 ◎3,500円 ◎3,000円 (舞台後方席)

U30 前売 【一般発売に併せて販売】◎2,500円 ▲2,000円 ◎1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際に年齢の確認ができる証明書の提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。※オンラインチケット https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/ で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日 【当日残席がある場合のみ発売】◎2,500円 ▲2,000円 ◎1,500円 ◎1,000円 ◎1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書の提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。

金曜ペアチケット ◎10,000円 ◎9,000円 ◎8,000円

※2名様での購入がお得なチケットです。※オンラインチケット https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/、チケットカウンターで販売 (チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。 (6/20公演) ※他の割引特典等との併用はできません (京響友の会、Club 会員、障がい者割引)。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2025年6月13日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書を提示ください)。

チケットご予約

●京都コンサートホール 075-711-3231 ●ロームシアター京都 075-746-3201
●24時間オンラインチケット購入 https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/
●チケットぴあ https://t.pia.jp/ Pコード 280-849
●ローソンチケット https://l-tike.com/ Lコード 52534

お問い合わせ

京都市交響楽団075-222-0347 https://www.kyoto-symphony.jp/
京都コンサートホール075-711-3231 https://www.kyotoconcerthall.org/
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



主催:京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)・京都市
協力:株式会社ドルチェ楽器 後援:(株)エフエム京都

協賛:ローム株式会社・介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ

発行:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた 音楽との出会いをお届けします。



The 701st Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

第701回 定期演奏会

日本初演となるジョルジュ・レンツのヴァイオリン協奏曲は、シュタインバッハーのために作曲された2023年の作品。彼女の奏でるヴァイオリンは天使のように響きますが、正邪両面が顔をのぞかせるという、非常に今日的で刺激的な着眼点から音楽が展開されます。

続いては沖澤が得意とするフランス音楽の特集。タイユフェールは20世紀前半にブーラングらが繰り広げたフランス6人組の活動において、唯一の女性作曲家として活躍しました。沖澤が注力している女性作曲家を紹介するシリーズです。生誕150年にあたるラヴェルの「マ・メール・ロワ」では曲ごとの物語のような描き分け、そしてディズニーのアニメ映画「ファンタジア」でもおなじみのデュカス「魔法使いの弟子」では大編成の管弦楽、と様々な角度からフランス音楽の魅力に迫ります。

指揮

沖澤 のどか(常任指揮者)

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)



©Felix Broede

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。2018年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝。第28回(2020年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第21回(2022年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回(2023年度)毎日芸術賞ユニクロ賞受賞。2024年2月、総監督・小澤征爾氏の生前の指名でセイジ・オザワ松本フェスティバル史上初の首席客演指揮者に就任。サイトウ・キネン・オーケストラへは2022年の同フェスティバルでデビュー後、すぐに再招聘を受けた。故郷の青森で2025年夏にスタートする「青い海と森の音楽祭」芸術総監督。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2022年3月、連邦大統領主催のベルリン・フィルのウクライナのための連帯コンサートを指揮。2022年5月ペトレンコ氏とともにカラヤン・アカデミー50周年記念公演に出演。2023/24シーズンは、パーゼル室内管、ウィニベグ響、ケベック響、BBCウェールズ・ナショナル管にデビュー。また、東響及び2022/23シーズンにアーティスト・イン・レジデンスを務めたミュンヘン響へ再び登場した。2024年6月、NHK響で定期公演デビューを果たし、2025年は、2月に東京二期会へ『カルメン』で再登場のほか、5月にはロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管へデビュー予定。読売日響、新日本フィル、日本フィル、東響など日本を代表するオーケストラへ定期的に客演。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでC.エーヴァルトとH.D.パウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。

ヴァイオリン

アラベラ・美歩・シュタインバッハー

Violin: Arabella Miho Steinbacher



©Sammy Hart

国際舞台の第一線で活躍するヴァイオリニスト。多様なレパートリーを持ち、古典派やロマン派の主要な協奏曲から、バルトーク、ベルク、ブリテン、グラスノフ、グバイドゥーリナ、ハルトマン、ヒンデミット、ハチャトゥリアン、ミヨー、プロコフィエフ、シュニトケ、ショスタコーヴィチ、シマノフスキらの作品にまで多岐にわたる。これまでに、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ドレスデン・フィル、NDRエルブフィル、バイエルン放送響、ベルリン放送響、ロンドン響、フランス国立管、ウィーン放送響、ソウル・フィル等と共演し、BBCフィル、ストラズブル・フィル、ザールブリュッケン放送響等のツアーに帯同している。また日本では、NHK響、読売日響、東響、新日本フィル、日本フィル、札幌響、京響、大阪フィル、日本センチュリー響と共演している。指揮者では、ヘルベルト・ブロムシュテット、クリストフ・フォン・ドホナーニ、クリストフ・エッセンバッハ、ワレリー・ゲルギエフ、ヤコブ・フルシャ、ピエタリ・インキネン、マレク・ヤノフスキ、ファビオ・ルイーダ、ズービン・メータ、アンドリス・ネルソンス、ヤニック・ネゼーセガン、キリル・ペトレンコ、山田和樹等と共演している。ペンタトーン・クラシックスと専属契約を結び、多様なレパートリーを収録した数々のアルバムを発表しており、最新盤『バッハとベルト』や、近年は『モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第1&2番』（ルツェルン祝祭弦楽合奏団）をリリース。『ヴィヴァルディ × ビアソラの「四季」』（ミュンヘン室内管）はガーディアン紙の5つ星レビューに輝くなど、高い評価を得た。ミュンヘンでドイツ人の父と日本人の母に生まれ、3歳でヴァイオリンを始める。8歳よりミュンヘン音楽大学でアナ・チュマチェンコに師事し、イヴリー・ギトリスからも多大な音楽的影響と指導を受けた。使用楽器は、ストラディヴァリウス「ex ベンノ・ヴァルター」（1718年製クレモナ）とガールネリ・デル・ジェス「セイントン」（1744年製クレモナ）で、いずれもスイスのプライベート財団より貸与。



©井上写真事務所 井上麻和

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリースを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2025年度は、「王道！斬新！」を主催公演のテーマとし、京響ならではの独自性と魅力ある公演を展開する。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

次回予告

第702回 定期演奏会

2025.5/17日 から発売!



高関健

中山航介

じっくりと味わいたい、高関のマーラー5番 必聴! テンパニの中山をフィーチャーした協奏曲

会場: 京都コンサートホール 指揮: 高関 健 独奏: 中山 航介(テンパニ / 京響首席打楽器奏者)*

2025. 7.18(金) 午後7時開演 7.19(土) 午後2時30分開演 入場料: 6,000円 4,500円 3,000円 (舞台後方席)
U30(前席) 2,500円 2,000円 1,500円 金曜ペアチケット(7/18公演) 10,000円 9,000円 8,000円
曲目: カーゲル: テンパニとオーケストラのための協奏曲*
マーラー: 交響曲 第5番 嬰ハ短調